

## 会 議 録

会 議 名 称	令和元年度 第1回登米市総合計画審議会
開 催 日 時	令和元年5月22日(水) 午後1時30分開会 午後3時30分閉会
開 催 場 所	登米市役所迫庁舎 2階 大会議室
議長(会長)の氏名	公立大学法人宮城大学 教授 徳永 幸之
出席者(委員)の氏名	公立大学法人宮城大学 教授 徳永 幸之【会長】 登米市子ども・子育て会議 会長 鹿野 良子【副会長】 登米市景観形成会議 副会長 寺島 洋子 登米市都市計画審議会 会長 遊佐 正克 登米市男女共同参画審議会 会長 須藤 明美 宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所 所長 斉藤 敬一 特定非営利活動法人登米市体育協会 会長 佐々木 猛 一般社団法人登米市医師会 副会長 松本 宏 社会福祉法人登米市社会福祉協議会 事務局長 佐々木 栄一 登米市民生委員児童委員協議会 会長 關 嘉基 登米市食生活改善推進員協議会 副会長 千葉みどり 一般社団法人登米市観光物産協会 会長 猪股 育夫 宮城北部流域森林・林業活性化センター登米支部 支部長 芳賀 稔 みやぎ登米農業協同組合 常務理事 須藤 正美 登米市環境市民会議 菅原 亜希子 登米市コミュニティ推進連絡協議会 会長 鈴木 香 公益社団法人とめ青年会議所 理事長 石塚 琢磨 以上17人
欠席者(委員)の氏名	登米市中学校長会 大場 正浩 登米市文化協会 理事長 鈴木 敬一 登米地域商工会連絡協議会 会長 阿部 泰彦 以上3人
事務局職員職氏名	【事務局】 企画部 部長 佐藤 裕之 企画部 次長 佐藤 嘉浩 企画部企画政策課 課長 遠藤 貞 企画部企画政策課 課長補佐(総合調整) 平井 崇 企画部企画政策課 課長補佐兼企画政策係長 伊藤 宏一 企画部企画政策課 企画政策係 主査 主藤 貴宏
議 題	【協議事項】 ①第二次登米市総合計画の基本計画等に掲げる主な成果指標に対する成果の検証について ②登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる主な評価指標に対する

	<p>成果の検証について</p> <p>③第二次登米市総合計画基本計画の見直し方針について</p> <p>④（仮称）第二次登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定方針について</p>
会 議 結 果	別添のとおり
会 議 経 過	別添のとおり

会議資料	<p>【資料1】 第二次登米市総合計画 平成30年度実施状況について</p> <p>【資料2】 登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成30年度実施状況について</p> <p>【資料3】 第二次登米市総合計画（基本計画）の見直し方針</p> <p>【資料4】（仮称）第二次登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定方針</p>
発言者	発言要旨
【1 開会】	
事務局	<p>ただいまから、登米市総合計画審議会を開催いたします。</p> <p>本日の審議会は、次第にありますとおり、新たに委員に就任していただく1人の方に委嘱状の交付を行い、議題4件について審議をいただきます。</p> <p>なお、本日の審議会において、7番 大場正浩委員、9番 鈴木敬一委員、15番 阿部泰彦委員の3人から欠席の連絡をいただいております。</p>
【2 委嘱状の交付】	
	市長から新たに就任される委員に対し、委嘱状を交付。
【3 市長挨拶】	
市長	<p>本日の会議では、第二次登米市総合計画基本計画並びに登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略の平成30年度実績値について、各評価指標項目における成果の検証を行っていただくものです。</p> <p>また、第二次登米市総合計画基本計画では、「社会経済情勢の変化に的確に対応するため、策定後5年を目途に必要な応じて見直しを行う」としていることから、策定後5年目となる令和2年度に向けて、計画の見直し検討を行っていくものです。</p> <p>さらに、登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略につきましても、本年度が計画最終年度となり、新たな計画策定が必要となっております。</p> <p>この両計画の検討に当たりましては、総合計画審議会へ諮問させていただき、ご意見を頂戴したいと考えているものでありますので、委員皆様の活発な協議をお願いいたします。</p>
【4 諮問】	
	「第二次登米市総合計画基本計画の見直し」及び「（仮称）第二次登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、市長から会長に対し諮問を行う。
（市長退席）	
【5 議題】	
事務局	<p>それでは、議事に入ります。</p> <p>議題は、登米市総合計画審議会条例第7条の規定により、会長が議長となり議事の進行を行っていただくことになっておりますので、「徳永会長」よろしくお願いたします。</p>
会長	<p>はじめに、登米市総合計画審議会条例第7条第2項の規定により、審議会の会議は、委員の半数以上の出席が必要となる。</p> <p>本日は17名の委員に出席をいただいているので、会議は成立することを確認</p>

	<p>する。</p> <p>会議録署名人は、16番 芳賀 稔委員、17番 須藤正美委員にお願いする。</p> <p>【協議事項】</p> <p>「(1) 第二次登米市総合計画の基本計画等に掲げる主な成果指標に対する成果の検証について」事務局からの説明を求める。</p>
事務局	(配布資料1に基づき説明を行う)
会長	事務局の説明が終わりました。 それでは、ご意見や質疑等を伺います。
委員	1ページの表の見方について、平成30年度で合計が85ポイントとなっているが、これは85点という捉え方でよいのか。 細かく見ると、200とか、マイナスなどいろいろ見受けられるが、総体で85点という捉え方でいいのか。
会長	私からも。最初の表は、なかなか見方が難しいというか、どう理解したらいいかわかりにくいと思うので、今の質問と合わせて、自己評価という視点をもう少し補足していただければと思う。
事務局	<p>まず、パーセンテージですが、これは先ほどご説明したとおり、単純に「目標値に対して、実績値が何パーセントであった」というものを示したものの。</p> <p>ポイントについては、ゼロから始まるものであればそのとおりだが、既に数値があるもの、例えば目標を100人としているものに対して、既に50人いるものに関しては、初年度から50%の達成ということになる。このため実際の増加率を見たいことから、いわゆる50人から始まる100人までの数値を捉えたものになる。</p> <p>また、数値の算出方法は、単純に資料を横に見ていただきたい。例えば、上から3段目にある「生きる力と想像力を養い自ら学び人が「そだつ」まちづくり」の項目には、16の指標項目があり、これを単純に足し上げて、16で割るとこの数値になる。これが個別政策ごと、全体では63項目を足し上げ、全体の数字が入っている項目数で算出をさせていただいた。</p> <p>ご指摘いただいたように、数字をみると上がり下がりがあるが、そのかたまりでの平均値を出させていたもので、全体とすれば一番下の合計欄の数値となっている。</p>
会長	<p>「85ポイントというのは、テストでいうところの85点か」との質問であったが、進捗度合いなので、「85%の地点まで到達している」との理解のほうがいいと思う。</p> <p>ただ、前年度に比べて4.2ポイント落ちたということになるが、このあたりの要因を具体的に説明できるか。</p>
事務局	<p>大きく下がった要因ですが、1ページで申し上げると、基本政策の2「安全安心な暮らしが支える笑顔で健康に「いきる」まちづくり」に「福祉・生活」の欄があるが、ここで大きくポイントを下げている。</p> <p>もう1点は、基本政策4の「自然と生活環境が調和し人が快適に「くらす」まちづくり」、この中の「環境・循環型社会」でポイントを下げている。</p>

	<p>実際にこれがどの部分にあたるかという、6ページのNo.22、「生活保護」の項目がある。ここの部分は、令和2年度の目標が7.97パーミルを目指したもののだが、平成30年度の実績が8.57パーミルとなり、前年度と比べても数値が悪化している。このパーセンテージが大きく足を引っ張っている状況である。</p> <p>もう1点は、9ページのNo.43、「市内湖沼の平均COD濃度」の項目。その令和2年度の目標値を6.9としているが、平成30年度実績が8.5で前年度よりも0.5ポイントほど悪化しており、パーセンテージを大きく下げる要因となっている。</p> <p>個別には、いろいろ上がったたり下がったりしているものもあるが、全体を見て大きな数字というのはこの2つが大きく足を引っ張っていると分析をしている。</p>
会 長	<p>もう1点確認ですが、今回、目標値を見直している点がいくつかあると思うが、それは反映されていないのか。</p>
事務局	<p>表の中ごろに令和2年度と令和7年度と目標値を設定しているが、この部分は当初設定したままで、ここはずっと引っ張ってこうと考えている。しかし、中には目標値を既に超えている部分があるので、それは右から2段目のところに、自己目標として表示している。</p> <p>ただ、中には目標までなかなか届かない個別計画の目標を設定しているところもあるので、そのところは同じ箇所に説明を記載している。</p>
会 長	<p>このあたりが、中間見直し等の議論にも絡んでくると思う。</p> <p>その他、ご質問、ご意見等はありませんか。</p> <p>それでは、次の総合戦略と項目が絡む部分もあるので、こちらも説明いただきたい。また総合計画に戻っても構わないので、ご意見をいただければと思う。</p> <p>「(2) 登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる主な評価指標に対する成果の検証について」事務局からの説明を求める。</p>
事務局	<p>(配布資料2に基づき説明を行う)</p>
会 長	<p>それでは、ご意見や質疑等を伺います。</p> <p>では、また私からですが、1ページのパーセンテージやポイントは、ここでの議論用の数字か。</p>
事務局	<p>昨年までは、集計したものを審議会にお示ししていなかった。個別表の中でお示しをし、口頭で合計の数字だけのご説明をさせていただいていた。ちなみに、外向けにもこのパーセンテージは出していない。</p> <p>その理由としては、実績値の考えはさまざまあるというのが1点目。説明の中でもお話をさせていただいたが、実績値が入っていないもの。または、今回のように修正させていただいた部分もあり、実際の生の数字をホームページなどで市民の皆さんにお知らせをさせていただいている。</p> <p>当然、昨年ご説明をした前年度の数値を今回修正させていただいているので、若干数値が変わってきているところもあることから、「参考」として説明している。あくまで、審議用の参考数値として、ご理解をお願いしたい。</p>
会 長	<p>資料2の1ページですが、パーセンテージで98.2パーセント、ポイントだと</p>

	<p>123.5 ということで、終わったようにも見えなくない数値だが、個別に見るとまだ達成していなかったり、課題が残る部分もあったりするということだと思う。単純合計してしまうと、誤解を受けやすい数値になってしまうので、注意が必要である。</p> <p>外には出ていかないということなので、皆さん方には、個別の評価をしっかりと見ていただければと思う。よろしくお願ひしたい。</p>
委員	<p>資料1の4ページ、No.11の総合型地域スポーツクラブ事業への参加者数が、平成30年度で58,950人という実績が出ている。一方、資料2の11ページ、No.44の市体育協会及び総合型地域スポーツクラブのスポーツ教室延べ参加者数が50,997人と出ている。総合型スポーツクラブ事業だけで58,950人、次の総合型と体育協会を合わせて50,997人となっているが、どのようなデータの取り方をしているのか。前から取ったデータでやっていかないと整合性がとれなくなるのだろうが、見直しをするのであれば、信用のおける数値となるようしっかりと整理してほしい。</p> <p>また、加賀野地区においては、人口の流入が非常に多い。特に、茶畑行政区は、合併時に300世帯ほどあったため、それを2の区に分けた。それがまた300世帯ほどになりつつあり、また分けなければならない可能性がある。このような新興住宅地域のデータなどは、この中にどのように反映されているのか。</p> <p>このように、実態に合わせたデータの出し方を整理する必要があると思う。以前から話しているが、なかなか整理されていない。</p>
事務局	<p>委員お話しのように、総合計画の方は、総合型地域スポーツクラブ事業の参加状況ということで、市内9クラブにおける30年度参加人数の実績を。まち・ひと・しごとの方は、9クラブに足して、市体育協会におけるスポーツ教室の参加者数の数字をいただいている。担当課からもらった数値を載せているが、数値の捉え方までは確認していなかった。</p> <p>委員からご指摘の点は、次の話題である見直しに対する議論の中でお話しをさせていただきたいと思うし、細かい数値の根拠については、確認して報告したい。</p>
委員	<p>データを集める側の立場はわかるし、データをそのまま掲載することも理解する。ただ、データの出し方をしっかりと統一した形で、現状に合わせて取り組む必要があると思う。</p> <p>例えば、パティオのスポーツクラブだけで、年間1万人の教室参加者がいるわけなので。</p>
会長	<p>今、ご指摘の件も含めて他も同様かと思うが、結局ひとつの項目でトータルの値しか表現していないので、その内訳がよくわからない。その内訳を見せることによって、理解が深まる部分もあると思う。</p> <p>例えば、人口の問題で言えば、ある地域で増えている数がそれなりの数値とすると、裏を返せば、より深刻な地域があるかもしれない。そういうことで、そのあたりもしっかりと見ていかないといけないと思う。</p> <p>いずれ見直しや新たな戦略を考える際には、データの見せ方、いわゆる課題の</p>

	見せ方を工夫していく必要があるかもしれないと思うので、今後の議論の中で相談させていただきたい。
委員	現実に加賀野小学校は、150人から320人の規模になっている。このような状況が、どのようになっているのかが全く見えてこない。とにかく、ただ人口が減っているということで、学校統廃合の話が進んでいる。新興住宅街として、家が立っているという現実をどうデータとして整理しているのかを見たいが、全くないわけです。
会長	そのほか、いかがでしょうか。 本日の議題(1)、(2)に関しては、今回これを見て、「審議会として確認しました」ということで終わりとの認識でよろしいか。
事務局	今回の(1)、(2)の部分については、30年度の実績ということで、これまで計画を策定してから実績調査をしており、その数値について説明させていただいた。 今、委員からもご意見があったが、それらについて「今後より良いものにしていこう」ということで、あくまでも報告事項という形で捉えていただきたい。
会長	資料が届いてからあまり時間もなかったと思うので、後ほどじっくりと見ていただいた中で気づいた点があれば、それを次期計画等に反映させるという取り扱いさせていただければと思う。 もし疑問な点等があれば、事務局へ連絡すると個別に説明いただけると思うので、よろしくお願ひしたい。
委員	例えば、AとBのデータでスタートし、途中でCのデータが必要だと言われても、そうするとデータが合わなくなるので、そのままいくのがいいのか。見直すのであれば、このまま10年後までいくのではなくて、登米市の現状を分析し、それを踏まえていかなければ、見直す意味がないと思う。これは前回の見直しの際にも言ったつもりであった。
事務局	目標年次前に到達した指標もある。それについては、計画上はそのままにしているが、委員お話しのように、実情に合わせた中で「それはおかしいだろう」ということで、担当部署で残りの年度も目標を立てた上で説明させていただいている。 総合計画や総合戦略は、平成27年度の計画策定の段階に5年後、10年後の目標を立てたものの、やはり社会情勢の変化やいろいろな状況により、早めに目標値に達した部分、あるいは、なかなか計画どおりにいかなかった部分もある。これから説明させていただく中では、その目標数値についても「本当にこれでよかったのか」も含めて議論いただきながら、見直しの中で審議いただこうと思っている。
委員	資料1の中で、湖沼群の水質の悪化、生活保護率の増加と目標値を下回ったものがあった。データだけの数字なので当然出てこないが、今後の問題として「傾向と対策」が必要ではないか。 例えば、生活保護率が高くなったことに対し、役所はどうするのか。そして、目標をどう立てるのかという話になってくると思う。そのような人に対して、生

	<p>活レベルを向上させるために、何をどのようにするかが問題だと思うが、それが全く見えてこない。もう少し数字的なものを加味してもらえればと思うが、その辺どうなのか。</p>
事務局	<p>委員お話しのように、数字だけ見ればかなり下がっているが、それを少なくするのが本来の姿である。そのような施策については、総合戦略の本文や総合計画にも記載しているが、本日の会議の前に本部会議を開催している。その会議は、担当部署の部長や次長が出席し、実情をしっかりと捉えている。これまでも取り組んできた部分ではあるが、さらにその数値をより良く向上させるような取組を今後やっていくという確認作業はできている。</p> <p>ただ、見直しにおける具体的な事業の中身部分については、なかなか答えられないが、その部分は職員がしっかりと現状を捉えている。来年どのように変化するかかわからないが、もう少し時間を頂戴できればと思う。</p>
委員	<p>問題は、世界経済や世界情勢が悪化しているのに、目標を上げて、登米市だけでできる問題ではない。その辺の目標の立て方というか、どこに合わせて100%になるようにしているのか疑問があった。</p>
事務局	<p>既に目標値を超えた部分は、成果があったと認識ができると思う。</p> <p>今、委員お話しのとおり、登米市だけでは解決できない部分がたくさんあるし、そういった中で数字そのものも毎年変化している。本来の姿であれば、毎年の状況を見ながら、それに沿った形で目標設定や見直しをすればよいと思うが、ひとつの計画ということで前期5年、後期5年という形としている。</p> <p>当然、今お話しの部分も含めて今回の見直しについては、しっかりと目標設定をさせていただきながら、さらに5年後の数値に向かって取り組んでいければと考えている。</p>
委員	<p>今、農業の問題や農地の問題として、田畑を頼みたい人が多い。それにもかかわらず、担い手への集積率を見ると年々減少している。そこに何かしらの原因があるはず。</p> <p>また、出生率も目標に対してなかなか伸びていない。転出が多く、人口が減少する。このままの状況では、悪くなる一方である。移住者も多少はいるが、それも目標値には届かない。定住させるには、企業を連れてきて仕事を増やしたり、あるいは農業を魅力あるものにして活性化させ、農家人口を増やしたりするなど、何か方策を考えないと大変だと思う。どこから手をつけていいのか大変難しい問題だが、それに手をつけなければ、厳しい登米市の将来が想像される。</p>
会長	<p>お話しされたことが、まさに本年度の課題で、中間見直し並びに次期総合戦略の策定にどう生かしていくかだと思う。</p> <p>今いろいろご意見をいただいた中で、目標が達成できないとか、見えづらい部分については、やはり目標の立て方や見せ方を工夫しながら、新たな計画には、より具体的にどう取り組めばいいかということが明確になるような形でやっていくことが必要と感じた。</p> <p>一覧の右側に3つの欄、「どのような取組を行い、良かった点、悪かった点を踏まえて、今後どのように取り組んでいくか」という項目が非常に重要で、これ</p>

	<p>を毎年繰り返すことで進捗があると思う。</p> <p>しかし、ここがよく書けているところと、中には、漠然としか書けていないところがあり、「具体的に何をやるんだろうか」、「本当にそれでよくなるんだろうか」と感じるところもあると思う。</p> <p>また、前回目標を立てる際に、数値目標のところは、最後の時間がない中でバタバタと決めていったという感覚が私にある。そういうことから、数値目標が目標に向かっていて本当に良い指標なのかということも含めて、見直しの際にはご検討いただければいいのかと思う。今後の議論の中でアイデアをいただきたい。</p> <p>だいたい次の議題に入ってきていることから、(3)、(4)に入りたいと思うが、よろしいか。</p> <p>それでは、(3)の第二次登米市総合計画の見直し方針について、事務局から説明をお願いしたい。</p>
事務局	(配布資料3に基づき、説明)
会長	それでは、ご意見・ご質問等を伺います。
委員	<p>今現在、合併特例債の進捗率はどのくらいになっているか。当初、合併特例債を使って庁舎建設を行う構想があったが、それを取りやめたことによって、ほかに使えるお金が出てきたと理解している。私は、合併特例債を満額使えば、間違いなく登米市はつぶれてしまうと思っているが、今どれくらい使っているか。また、今後、何割くらいまで使う予定なのか。わかる範囲で構わないので、教えてほしい。</p>
事務局	<p>登米市における上限額は572億円。合併協議の段階で、活用上限を396億円としている。令和元年度予算の中でも合併特例債を活用する事業があり、それを差し引くと残りが88億円となる。</p>
委員	そうすると、300億ちょっとは使っているという認識でいいか。
事務局	今年の予定も踏まえると300億を超える状況である。
会長	その他いかがでしょうか。
委員	<p>3ページの「市民参加体制」の部分、「まちづくり市民意向調査」に関連するが、登米市の魅力とは何だということを整理する必要があると思う。高齢になり、都会で暮らす子供のもとに行かざるを得ないということで、登米市を出ていく人が結構多い。それは以前からわかっていることで、登米市に魅力があるかないかということよりは、登米市に住めない事情があることが人口減に大きく左右している。</p> <p>移住・定住において、若い世代が何千万も借金をして家を建てている現実がある。その方々が、どういうものに魅力を感じて登米市に来ているのか。このことは、我々にとってありがたいデータだと思うので、ぜひデータを取ってほしい。</p> <p>私は、加賀野小学校に新しく来た方々と会った際、いろいろ話をしているが、移住・定住の理由は小学校も近いし、買い物するにも生協やヨークベニマルが近く便利だからと話す。しかし、それだけなのか。ほかに別の理由があるんじゃないかと思っている。</p>

	<p>そのようなデータをしっかりとそろえれば、ほかの地域においても魅力ある登米市のまちづくりにつながる。次の住み家を求めて登米市に来た人たちの意見をしっかりと聞くことが、「市民からの意見の把握に努める」という項目で忘れてはならないんだと思う。このように、現在、登米市に住んでいる人の意見も大切だが、「新たに登米市に来た人は、なぜ来たのか」というデータもぜひ取ってほしい。</p> <p>そのところから、新たな登米市の魅力が発信できるんだと思う。魅力がなければ来ないはずなので、アンケートを行ってほしい。</p>
事務局	<p>委員ご指摘のアンケート調査の部分では、市の施策として補助金交付など実施しているが、住宅を取得される方に対し、担当課にてアンケート調査をしている。そういったデータを今後も取りそろえたい。</p> <p>また、これもアンケートになるが、窓口においても転入された方にご記入をいただき、データの収集に努めている。このようなデータも、次回以降は委員皆様に対してお示しできるようにしたい。</p> <p>さらに、今回実施している市民意向調査の中において、選択肢から選んでもらう形で「登米市の強みや弱み」といった項目もある。とりまとめが終わり次第、皆様方に審議のデータとして示していきたいと考えている。</p>
委員	<p>「登米市が良い」と来ている人たちの意見をしっかりと聞くべき。そこがないと、「登米市が嫌だ」という人たちばかりの意見を聞いていてもしょうがない。登米市が嫌だと出ていく人の意見より、登米市が良いと来る人の意見をしっかりと聞いた方がよいと私は思う。</p>
委員	<p>今、委員が言ったように、住んでいる人が気づかなくても、良さがあるからほかから移住・定住される人もいる。</p> <p>例えば、災害が少ないため、安心して暮らせる。地震が起きても、ほかよりも被害が少ない。ほかにも、緑が多い、水がきれいなどの良さがたくさんあるはずだ。</p>
委員	<p>今年の平筒沼の桜まつりは、人がものすごく多くて驚いた。話を聞いてみると、河北新報で紹介されていたのをきっかけに、今回初めて来たとのこと。</p> <p>このように、宣伝の仕方によって、市外からの転入や観光客の増加が図れる。しかし、今頑張っているのは登米<sup>とよま</sup>だけ。ほかの町域も特色はそれぞれあるので、どんどんマスコミを利用し、宣伝して取り組むべきである。平筒沼の桜の件で、改めてマスコミによる宣伝効果や影響力に驚いたところである。</p>
委員	<p>長沼のボート場も全国的になって、日本一の評価を受けた。そういったところを生かしてほしい。栗原市は宣伝が上手で、住みたいまち1位とのこと。同じような環境の登米市が残念だ。やはりPRは大切である。</p>
副会長	<p>私の友人は、フードマラソンに参加しており、「登米市は、人情味があり、いいまち。また訪れたい」と話している。委員お話しのとおり、PRは重要だと思う。</p>
委員	<p>「広報とめ」で紹介しても限界がある。登米市の魅力をはじめ、若い者の意見など掲載されており、確かにすばらしいと思う。しかし、それは市内向けで終わ</p>

	<p>ってしまっている。河北新報などは、多くの市外の方たちが見るので、そういったマスコミの活用方法を考えてほしい。</p>
会 長	<p>PRの工夫によって、交流人口の増加となり、定住人口につながっていくと思う。このことも、見直しの中で盛り込んでいただきたい。</p>
委 員	<p>3「見直しに当たっての基本的な考え方」について、お聞きする。</p> <p>書きぶりのことであるが、最初に「一般財源の縮減」の話があり、4番目に「市民ニーズ等の変化への対応」となってる。本来は、最初に「市民ニーズ等への対応」が来るべきではないか。</p> <p>先ほどから人口減少の話が出ているので、次に「人口減少への対応」、その次に「公共施設等の老朽化への対応」がきて、「一般財源」が流れのような気がする。最初に「お金がないから」と書くのはどうなのかと思った。</p> <p>それから、検証では大きな基本項目は当然そのままかと思うが、評価項目等の見直しというのは、数値だけを見直し、項目数はそのままとの認識でいいか。</p>
事務局	<p>委員お話しの順序立ては、ごもつともである。記載については、内容の作成順であるので、ご理解をお願いしたい。</p> <p>しかし、本市の財政状況については、4月以降に広報とめでも特集を組んでいるとおり、一般財源縮減に対する対応は喫緊の課題と認識している。</p> <p>また、評価項目の部分は、先ほどからいろいろとご意見を頂戴している。</p> <p>評価項目は、「その指標自体が妥当だったのか」を検証するので、残るものもあれば、変わるものもあるものと事務局では捉えている。</p>
会 長	<p>このように、評価項目そのもの自体を見直さなければいけない部分も出てくると思う。これまでは、ここに設定された評価項目で評価してきたが、果たして、それが本当に施策の達成度を測れているかどうかという視点で見なければいけない。そのため、これまでの数値目標だけを追いかけるだけでは、見えてこない部分もある。それが、市民意向調査の集計から見えてくるのか。あるいはヒアリング、また、この場での議論から出てくることもあるかと思う。</p> <p>個々の数値目標を達成することが総合計画の目的ではないので、登米市全体を良くしていくという一番大きな目標に向かって、それぞれの項目が機能しているかを見ていかなければいけない。なかなか大変な作業になるかと思うが、よろしくをお願いしたい。</p> <p>それでは、次の「創生総合戦略」も関係してくると思うので、説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>(配布資料4に基づき、説明)</p>
会 長	<p>こちらについては、総合計画の見直しの中における重点目標とすり合わせるような形の中で、総合戦略という形になっている。</p> <p>それでは、ご意見・ご質問等を伺います。</p>
委 員	<p>基本目標の1、「登米市の地域資源を活かし、産業の活性化による安定した雇用の創出」に関連するが、6次産業化について、米をただ袋に入れて販売しても、全国共通価格である。それに付加価値をつけるためには、人が必要であり、それが雇用につながる。例えば、米1升をおにぎりに加工すると10倍になる。</p>

	<p>このような発想をもとに雇用を生み出し、そして定着させるような循環ができないか検討すべきと考える。それが定住につながり、雇用につながり、所得の向上、そして登米市の税収アップにもつながるはず。</p>
委員	<p>そういう部分を実施計画や毎年の予算に反映させるという考え方でよろしいか。また、漠然とした形で方向性を示し、委員お話しのようなことを書き込むという認識でいいか。</p>
事務局	<p>お話しのとおりである。そのように進めてまいりたい。</p>
委員	<p>基本目標1「登米市の地域資源を活かし、産業の活性化による安定した雇用の創出」に関連して、都市計画審議会の中でも提言していることを申し上げたい。</p> <p>現在、築館から高規格道路が着々につながり、三陸道も気仙沼方面にもつながるにつれ、登米市が廃れる方向にいかないかと危惧している。この総合戦略の中に、交通体系の問題がひとつも入っていないが、これは今後重要な問題だと思う。当然、都市計画審議会でも議論するが、交通対策をもっと考えるような内容にしていきたい。口で言うのは簡単だが、まだ具体策は見えていないものと理解しつつ、現在どのように考えているか伺いたい。</p>
事務局	<p>登米市における交通体系が、あと数年内にある程度形づけられる中で、委員お話しのような心配も当然ある。その部分に関しては、次の審議会の中でご審議いただきたい。私どもも、いろいろなアイデアをもって考えていきたい。</p> <p>ただ、今数字に表れている部分について、例えば、外から交流人口として入ってくる人数に関しては伸びている状況がある。しかしながら、この先どのように変化してくるかについては、現段階ではなかなか見えづらいところがあるので、その辺はよく分析をしていきたい。</p> <p>もう1点、登米市の人口の関係だが、令和7年度に72,000人を目標に各種施策に取り組んでいる。27年度の国勢調査で申し上げれば、目標値を若干ではあるが上回っている。その主な要因は、やはり東日本大震災の影響が大きく、特に南三陸町近辺から登米市への転入者が多かったことが挙げられ、国勢調査からのデータからも見てとれる。</p> <p>しかし、震災から8年が経過し、今後どのように推移していくかに関しては、これから我々が試される時代になってくると思われる。今回の総合計画の見直しと新たな総合戦略の策定がその先を位置づける意味でも大変重要と考えているので、さまざまご意見を皆様から頂戴し、つくりあげていきたいと考えている。</p>
委員	<p>出生率の上昇や子供の数を増やすひとつの方策として、給食費を無償化する思い切った取組を行った市がテレビで紹介されていた。移住者は、「子育てがしやすい」、「人々が温かい」などと話していた。</p> <p>財源などの関係で難しいかもしれないが、やはり若い力が市をつくっていくという視点に立てば、思い切った発想も必要と考える。</p>
委員	<p>今、高齢で免許を返納した方々が多くなってきており、家の中にいる時間が長くなっている。健康寿命の延伸を図るために、ウォーキング教室など開いているが、なかなか一人では参加できない。昔は、宮城交通の停留所があったが、今は</p>

	<p>なくなってしまう、公民館などで開催される健康教室へ参加したくても、行けない方々がたくさんいる。</p> <p>市民バスのルートを見直すことで、健康教室への参加者を増やすことは、健康寿命の延伸を図ることにもつながる。これは、先ほどの交通アクセスの問題とリンクところもあるので、ぜひこれは基本目標2の「登米市に住み続けたい、住みたいと思える魅力あるまちづくり」という方向性を踏まえ、検討いただきたい。</p>
会 長	<p>いろいろと意見いただいたが、私なりに解釈をさせていただくと、この総合計画や総合戦略は、結局のところは基本計画までの議論になる。それが本当にうまくいくかという議論は、実施計画であり、単年度の計画まで落とし込まれて、ようやく行われる。この場では、そこまでの議論はなかなかできないが、そこまで落とし込めるように、ものによっては具体的な計画まで視野に置いた中で、全体的な総合計画や総合戦略を考えていかなければならない。</p> <p>要するに、絵に描いた餅で終わってはいけないわけで、それをいかに食べれるようにするか、みんなで食べていくかがより重要になってくる。その点は、それぞれの担当課で議論されることになるが、その辺も見据えつつ、議論を進められればと思っている。</p>
委 員	<p>総合戦略の基本的な考え方の中に「SDGs（エスディーゼーズ）」の文言がある。この取組自体はいいが、総合計画の中になく、総合戦略に急に出ていることで、整合性に問題はないか。どのような位置づけかがわからない。</p>
事務局	<p>委員お話しのとおり、総合計画と総合戦略はリンクしてくる部分となる。総合計画においては、各指標項目の見直しの際に SDGs で位置づけられたターゲットや目標を勘案しながら、評価項目を設定したいと現段階では考えている。</p>
会 長	<p>いろいろとご意見をいただきましたが、策定方針については、大筋了解いただいたということでもよろしいか。</p> <p>本日いただいたご意見をしっかりと反映した形で、次回以降の議論を進められればと思っているので、よろしくお願ひしたい。</p> <p>議事は以上とさせていただきます。</p>
【7 その他】	
事務局	<p>4つの議題について、ご審議ありがとうございました。</p> <p>次に、6のその他に移りますが、委員皆様方から、審議会の進め方などについて、ご意見等ございましたらお願いいたします。</p> <p>なければ、事務局からご連絡です。次回の審議会開催でございますが、8月上旬を予定させていただきたいと考えております。具体的な日程が決まりましたら、皆様にご通知いたしますので、よろしくお願ひいたします。</p>
【8 閉会】	
会長	<p>本日は、熱心にご議論いただきありがとうございました。</p> <p>この総合計画並びに総合戦略は、策定の頃からかかわらせていただいたが、こうやって見直しを進めると、「もう少しこうしなければ」と思うところも出てきた。</p> <p>また皆様方から、忌憚のないご意見をいただきながら、よりよい計画と戦略と</p>

	なるように進めてまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。 本日は、どうもありがとうございました。
--	---